
次期廃棄物計画の産業廃棄物の目標項目について

川崎市環境局

産業廃棄物に関する目標項目の考え方

次期廃棄物計画に必要な要素

- ・ 3Rをはじめとした**資源循環の取組の一層の進展**
- ・ 2050年のカーボンニュートラルや、SDGsの達成に向けた廃棄物処理に係る**脱炭素化やプラ資源循環の推進**



脱炭素化・資源循環の推進の程度を計る目標項目が必要



産業廃棄物の再生利用率・廃プラの再生利用率

- ・ 再生利用の推進による、焼却処理に伴う**温室効果ガスの削減・脱炭素化に寄与する項目**
- ・ 製造事業者や高度なりサイクル事業者が集積している本市の特性を活かした、動静脈間連携や資源化処理施設・再資源化事業の高度化の推進による、**資源循環の推進の程度を計る項目** ※算定方法については、今後検討

【目標1】 1人1日あたりのごみ排出量（一般廃棄物） （考え方）

※再掲

8月30日第3回資源循環部会

○**現行の一般廃棄物処理基本計画・第3期行動計画の目標項目**

- ・ 発生抑制の程度を計る項目
- ・ ごみ、資源物問わず発生抑制に取り組むことが重要であるため、**資源物量も対象**
- ・ 市民、事業者、行政が協働して発生抑制に取り組むことが重要であるため、**家庭系と事業系を対象**
- ・ 2023年度時点で820 g であり、第3期行動計画の目標である「2025年度までに872 g 以下」を前倒しで達成

【目標2】 ごみ焼却量（一般廃棄物） （考え方）

※再掲

8月30日第3回資源循環部会

○**現行の一般廃棄物処理基本計画・第3期行動計画の目標項目**

- ・ 廃棄物分野での温室効果ガスの排出量は焼却由来がほとんどのため、発生抑制や資源化のほか、脱炭素化の視点も含め、焼却量そのものの削減程度を計る項目
- ・ 事業系ごみの減量目標としても活用できるよう、**家庭系と事業系を対象**
- ・ 2023年度時点で32.6万トンであり、第3期行動計画の目標である「2025年度に33.0万トン」を前倒しで達成

【目標3】プラスチック資源分別率（一般廃棄物）

（考え方）

※再掲

8月30日第3回資源循環部会

○プラスチック資源一括回収を踏まえて新たに設定

- ・脱炭素化・循環経済の面からも着目すべき“プラ”の資源循環の程度を計る項目
- ・プラスチック製容器包装の分別率（約4割）は他の先進都市（50～60%）※までは達していない
※プラスチック製容器包装の一人あたり収集量の政令指定都市比較では、分別実施都市16市中7位
- ・2024年度からプラスチック製品も含めた「プラスチック資源」の一括回収を開始し、2026年度に全市展開し分別率向上を目指す

【目標4】産業廃棄物の再生利用率・廃プラの再生利用率（産業廃棄物）

（考え方）

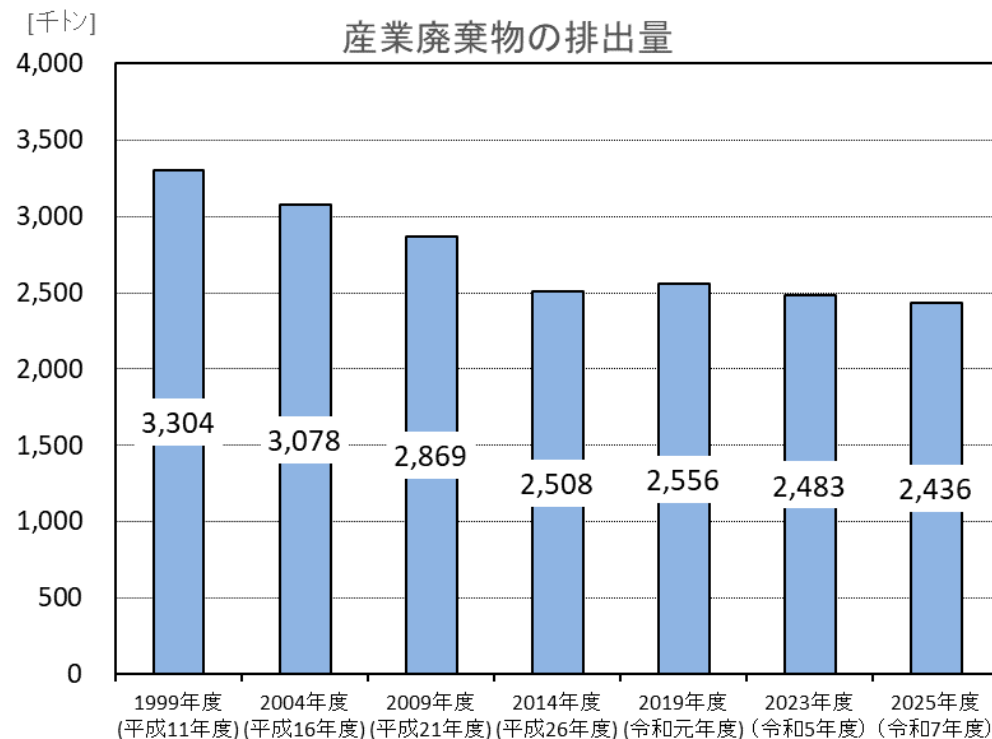
●脱炭素化・資源循環の推進に向けた目標項目

- ・再生利用の推進による、焼却処理に伴う温室効果ガスの削減・脱炭素化に寄与する項目
- ・製造事業者や高度なりサイクル事業者が集積している本市の特性を活かした、動静脈間連携や資源化处理施設・再資源化事業の高度化の推進による、資源循環の推進の程度を計る項目

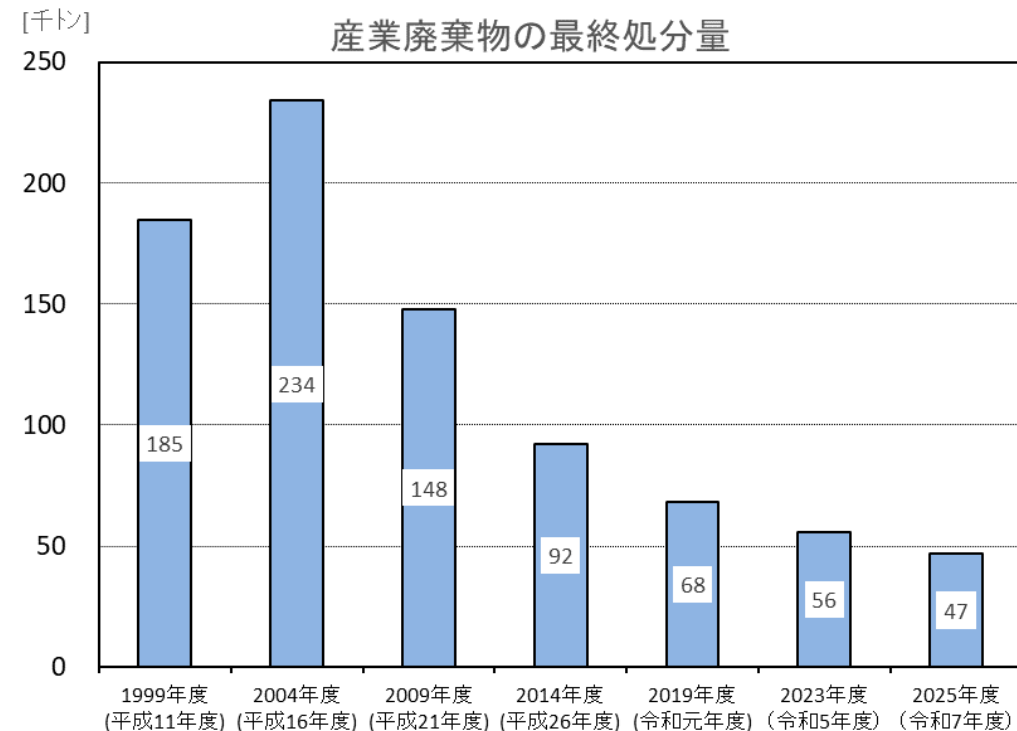
【参考】産業廃棄物に関する指標（長期的推移の観測を継続する指標）

現計画において設定した目標についても、推移の把握を続けて産業廃棄物の排出・処理状況を確認し、必要な施策について検討・実施する。

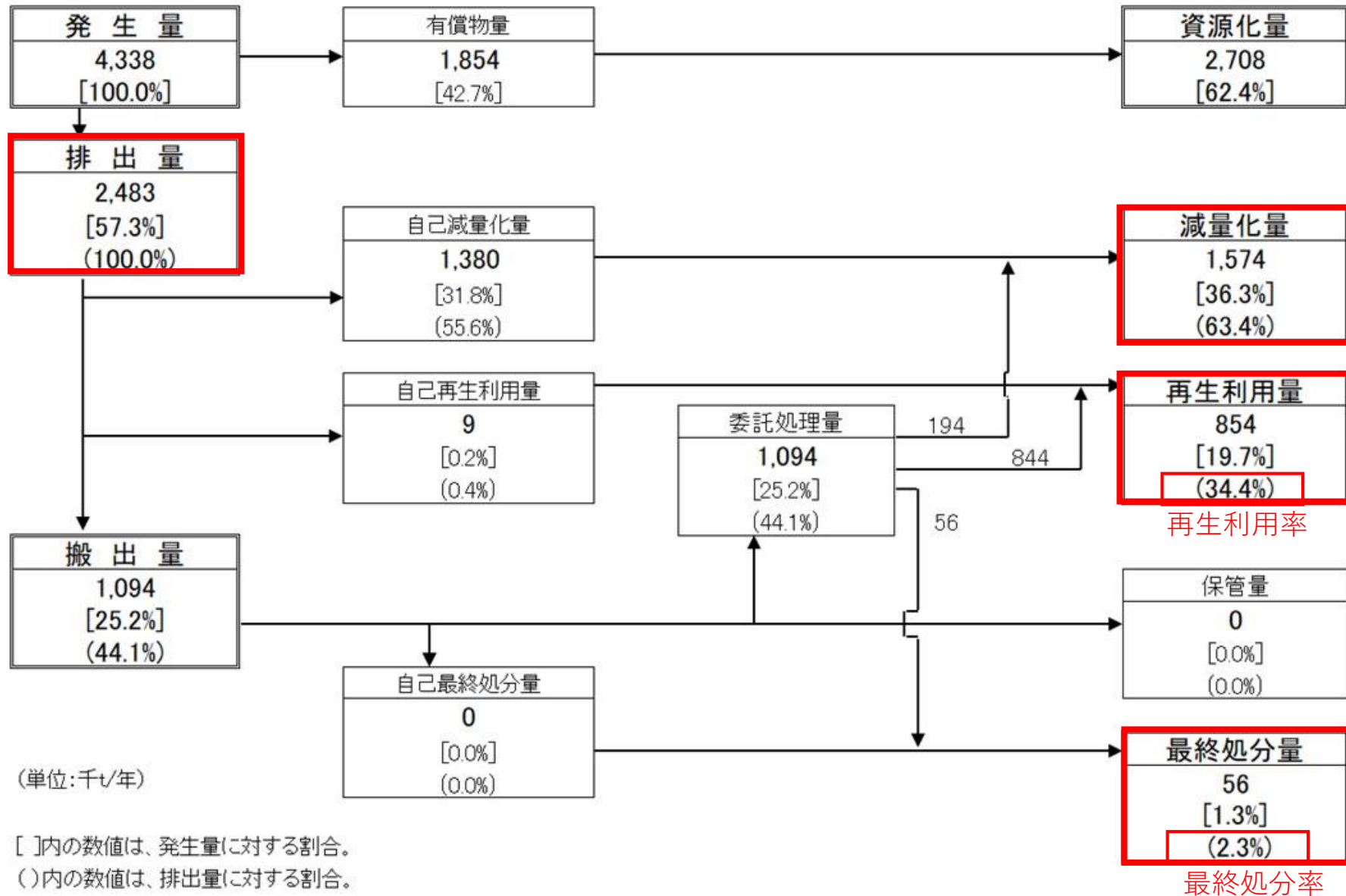
排出量



最終処分量



【参考】市内で発生した産業廃棄物の処理フロー図（2023年度）



発生量：
有価物として利用されたものを含む不要物の総量

排出量：
発生量のうち、有償物量を抜いた量（廃棄物処理が必要）

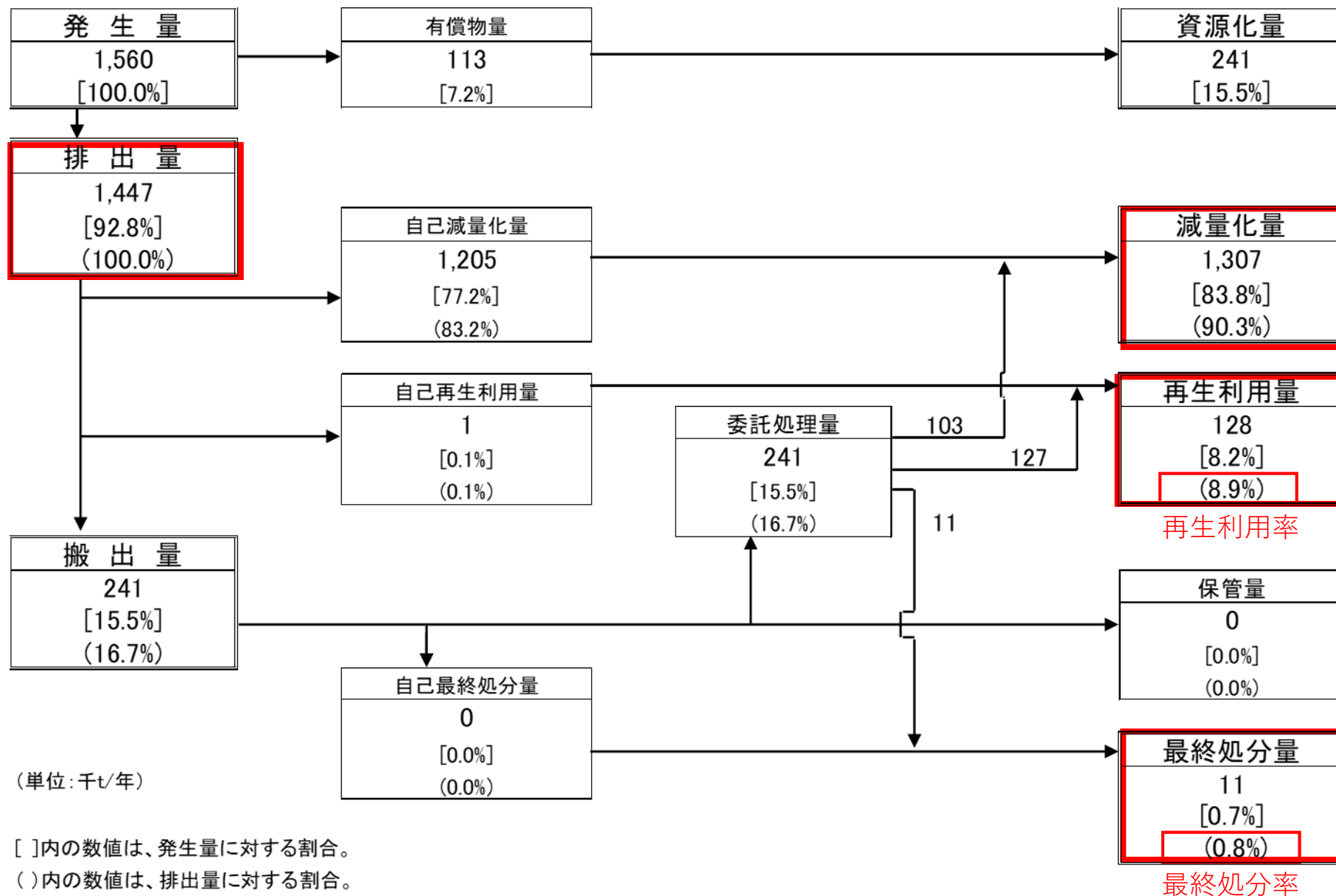
有償物量：
廃棄物にはならず売却など有効利用された不要物の量

減量化量：
焼却処理や脱水処理によって減少した廃棄物の重量

再生利用量：
排出事業者又は処理業者等で再生利用された量
 （原料や有価物に変わった量）
 ※サーマルリサイクル除く

最終処分量：
排出事業者又は処理業者等の最終処分量の合計
 （埋立などで処分される）

【参考】市内で発生した汚泥の処理フロー図（2023年度）



発生量：
有価物として利用されたもの
を含む不要物の総量

排出量：
発生量のうち、有償物量を
抜いた量（廃棄物処理が必要）

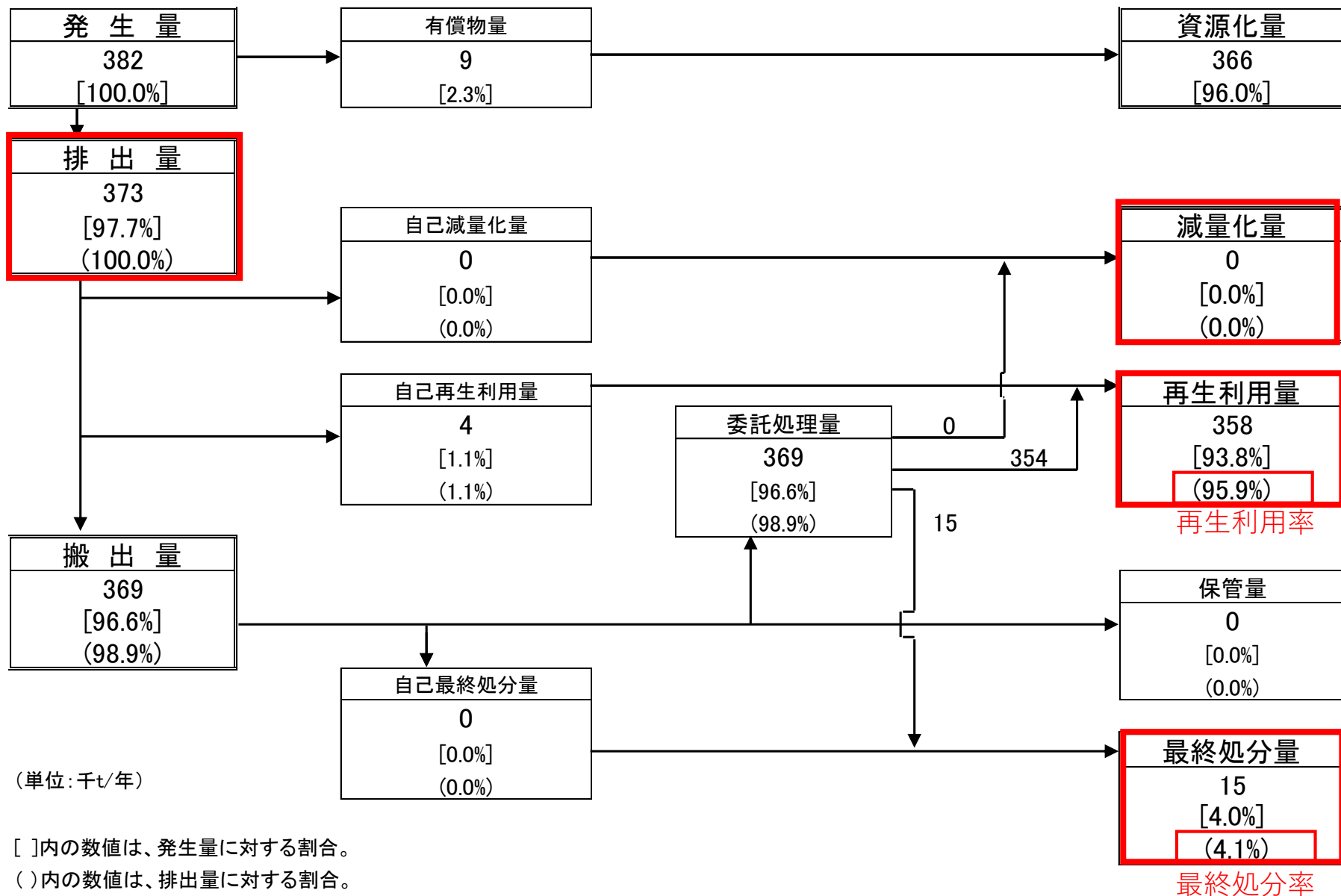
有償物量：
廃棄物にはならず売却など
有効利用された不要物の量

減量化量：
焼却処理や脱水処理によって
減少した廃棄物の重量

再生利用量：
排出事業者又は処理業者等で
再生利用された量
（原料や有価物に変わった量）

最終処分量：
排出事業者又は処理業者等の
最終処分量の合計
（埋立などで処分される）

【参考】市内で発生したがれき類の処理フロー図（2023年度）



発生量：
有価物として利用されたもの
を含む不要物の総量

排出量：
発生量のうち、有償物量を
抜いた量（廃棄物処理が必要）

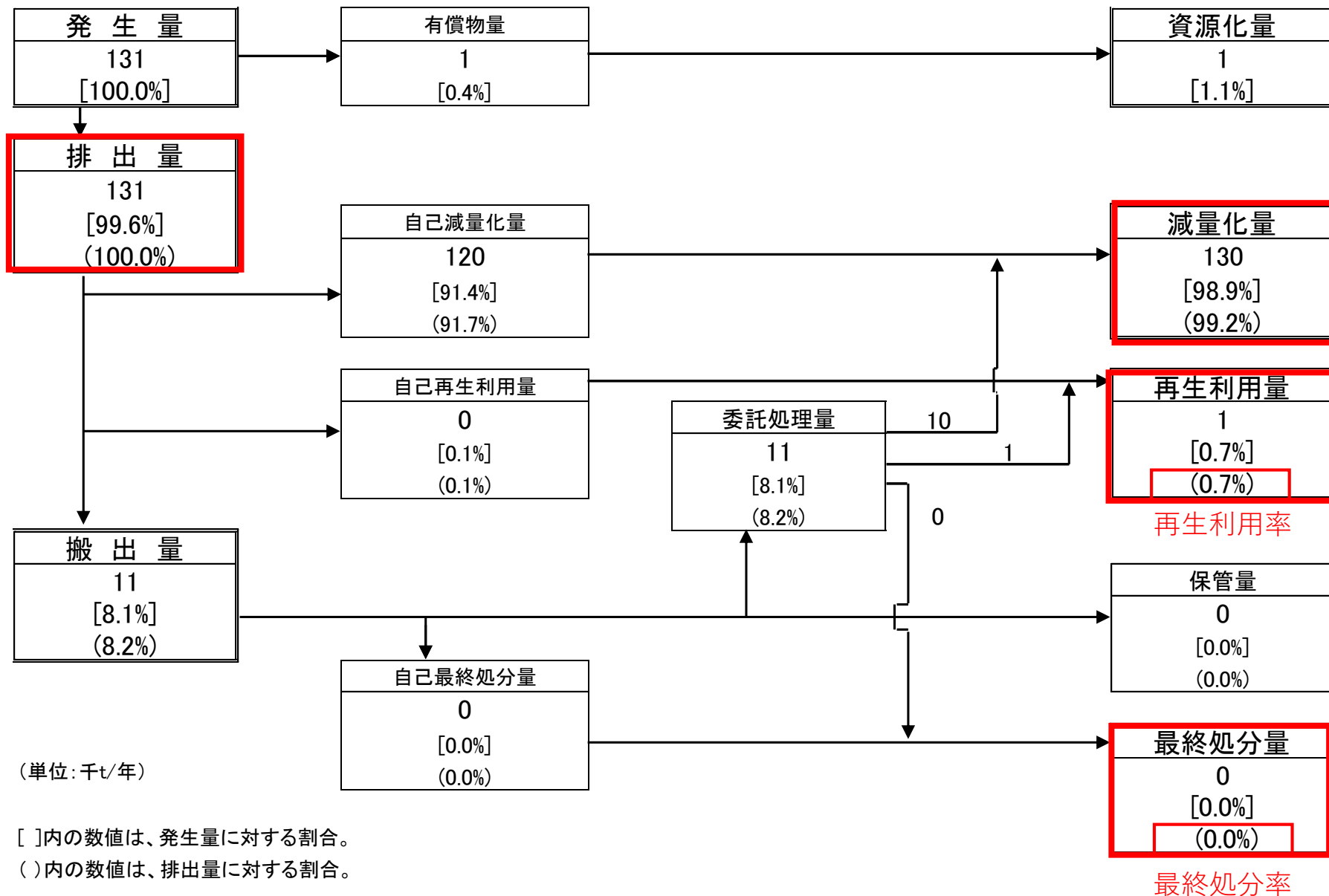
有償物量：
廃棄物にはならず売却など
有効利用された不要物の量

減量化量：
焼却処理や脱水処理によって
減少した廃棄物の重量

再生利用量：
排出事業者又は処理業者等で
再生利用された量
（原料や有価物に変わった量）

最終処分量：
排出事業者又は処理業者等の
最終処分量の合計
（埋立などで処分される）

【参考】市内で発生した廃酸の処理フロー図（2023年度）



発生量：
有価物として利用されたもの
を含む不要物の総量

排出量：
発生量のうち、有償物量を
抜いた量（廃棄物処理が必要）

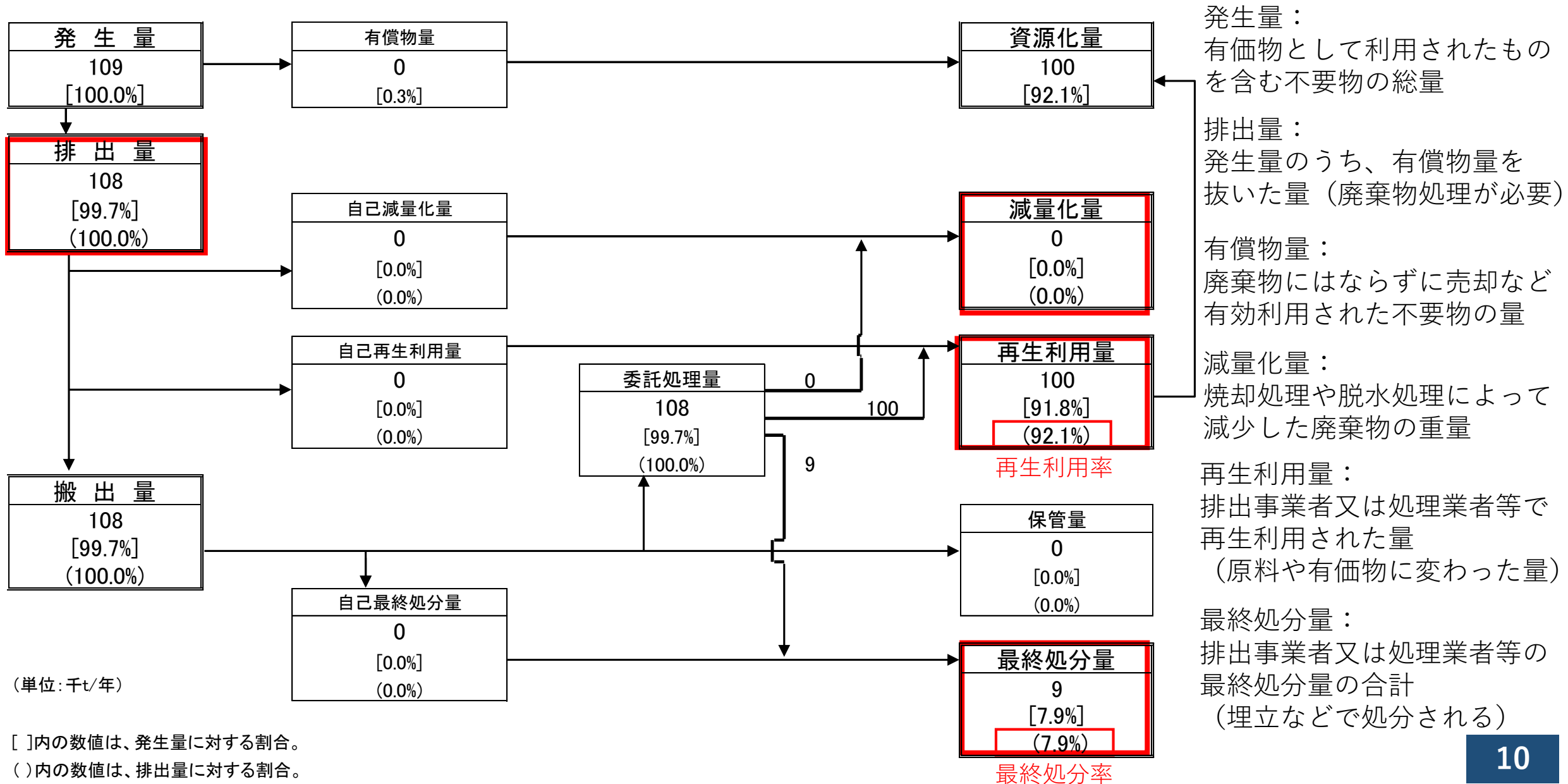
有償物量：
廃棄物にはならず売却など
有効利用された不要物の量

減量化量：
焼却処理や脱水処理によって
減少した廃棄物の重量

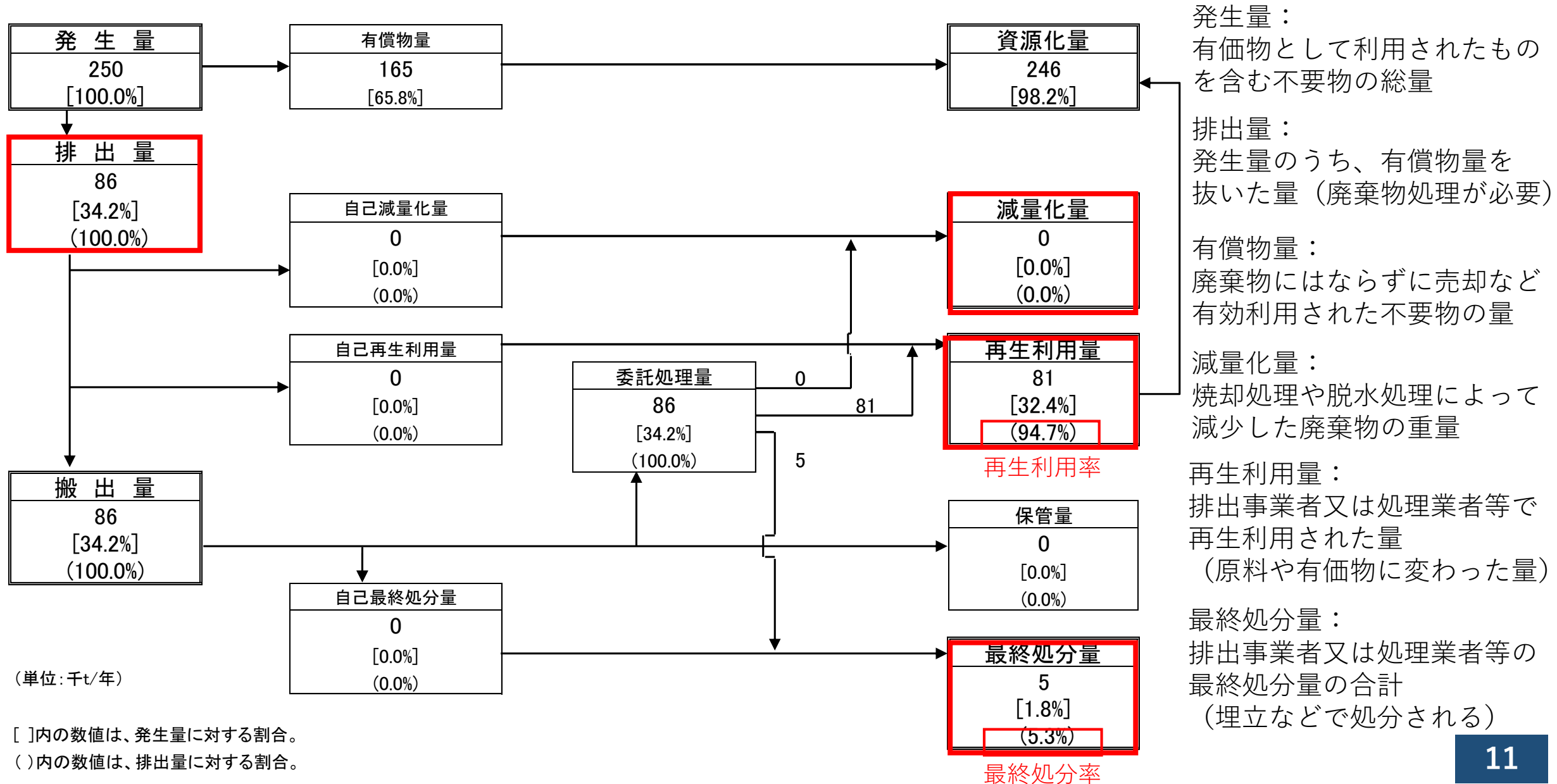
再生利用量：
排出事業者又は処理業者等で
再生利用された量
（原料や有価物に変わった量）

最終処分量：
排出事業者又は処理業者等の
最終処分量の合計
（埋立などで処分される）

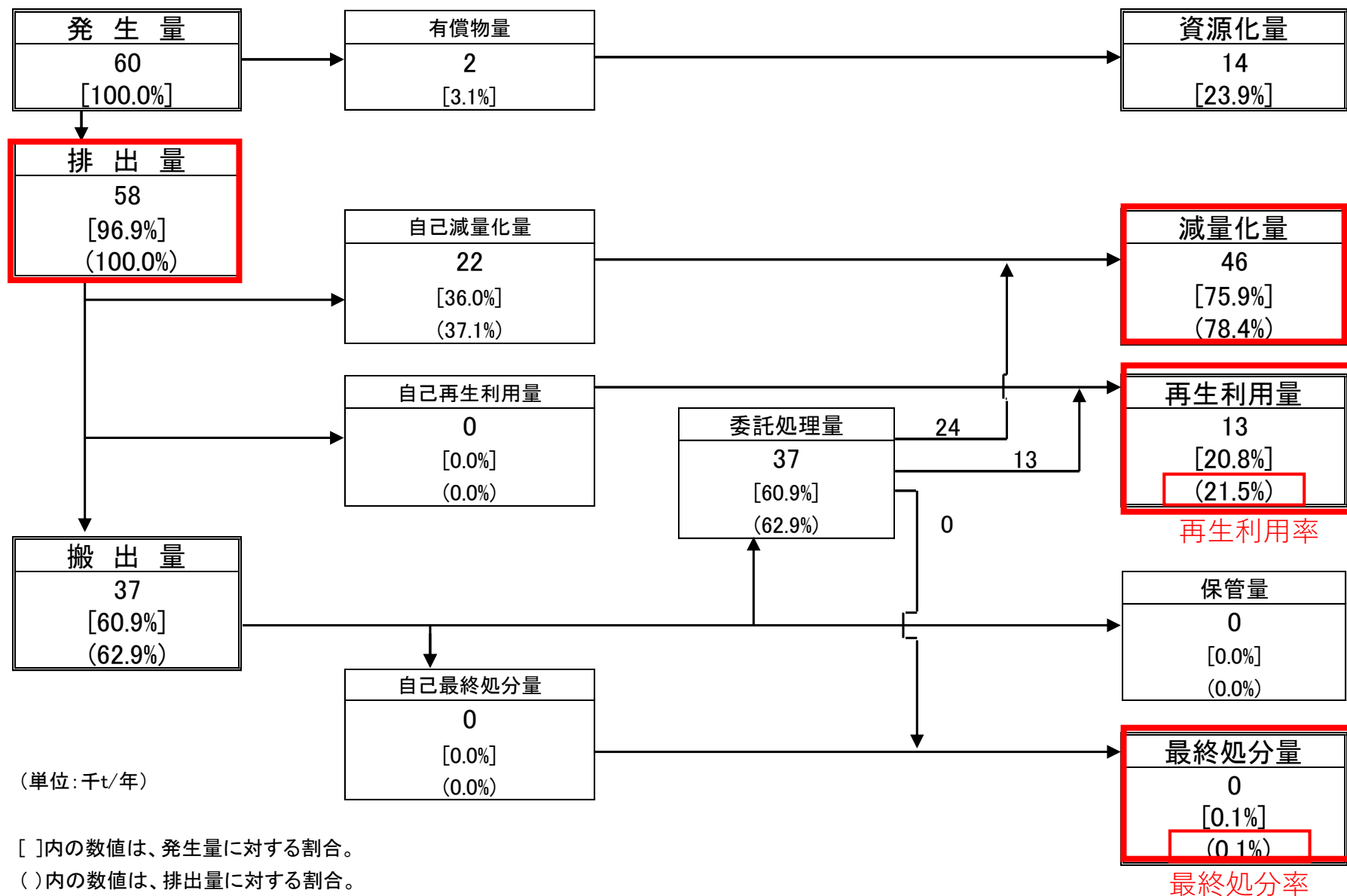
【参考】市内で発生したガラス陶磁器くずの処理フロー図（2023年度）



【参考】市内で発生したばいじんの処理フロー図（2023年度）



【参考】市内で発生した廃油の処理フロー図（2023年度）



発生量：
有価物として利用されたもの
を含む不要物の総量

排出量：
発生量のうち、有償物量を
抜いた量（廃棄物処理が必要）

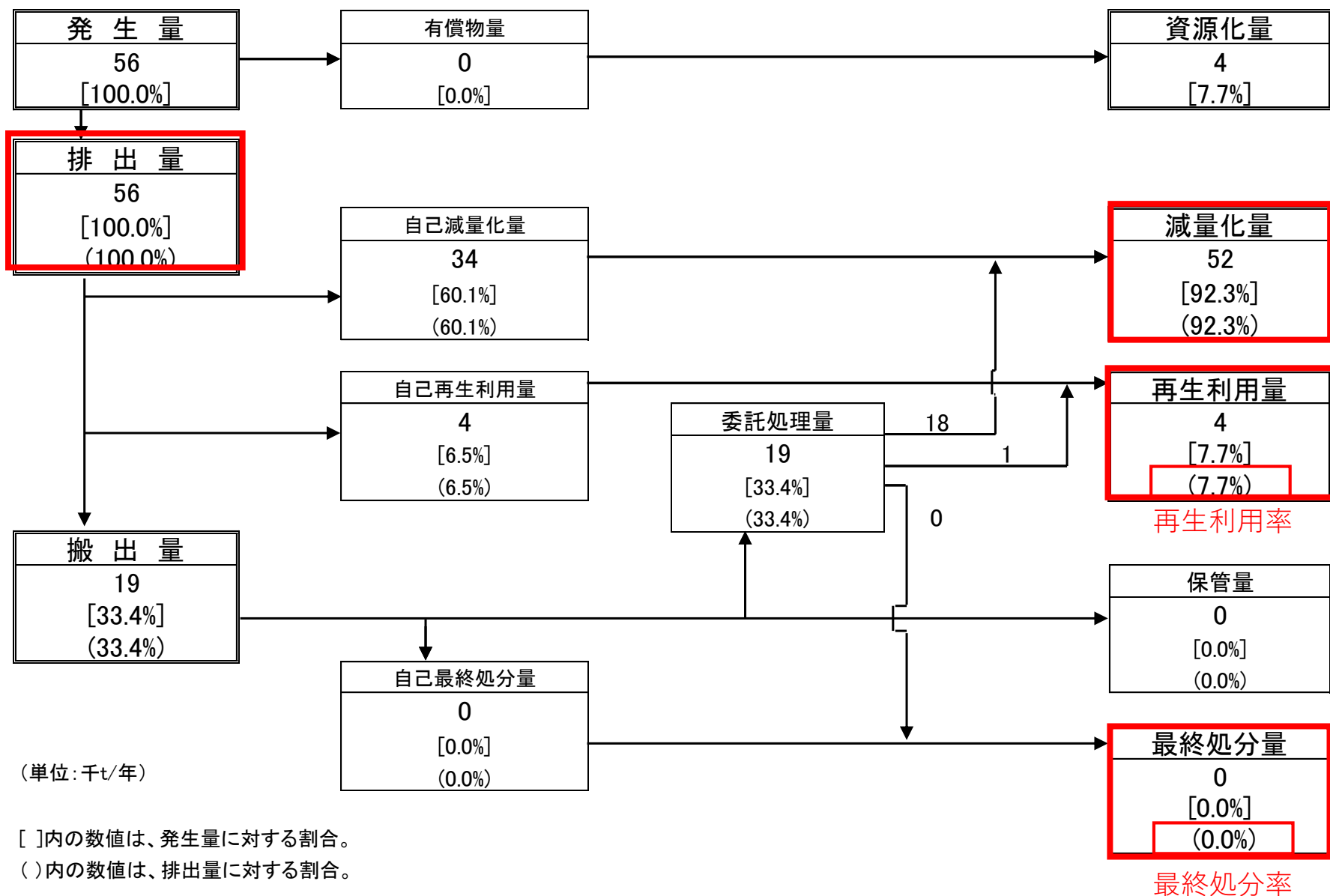
有償物量：
廃棄物にはならず売却など
有効利用された不要物の量

減量化量：
焼却処理や脱水処理によって
減少した廃棄物の重量

再生利用量：
排出事業者又は処理業者等で
再生利用された量
（原料や有価物に変わった量）

最終処分量：
排出事業者又は処理業者等の
最終処分量の合計
（埋立などで処分される）

【参考】市内で発生した廃アルカリの処理フロー図（2023年度）



発生量：
有価物として利用されたもの
を含む不要物の総量

排出量：
発生量のうち、有償物量を
抜いた量（廃棄物処理が必要）

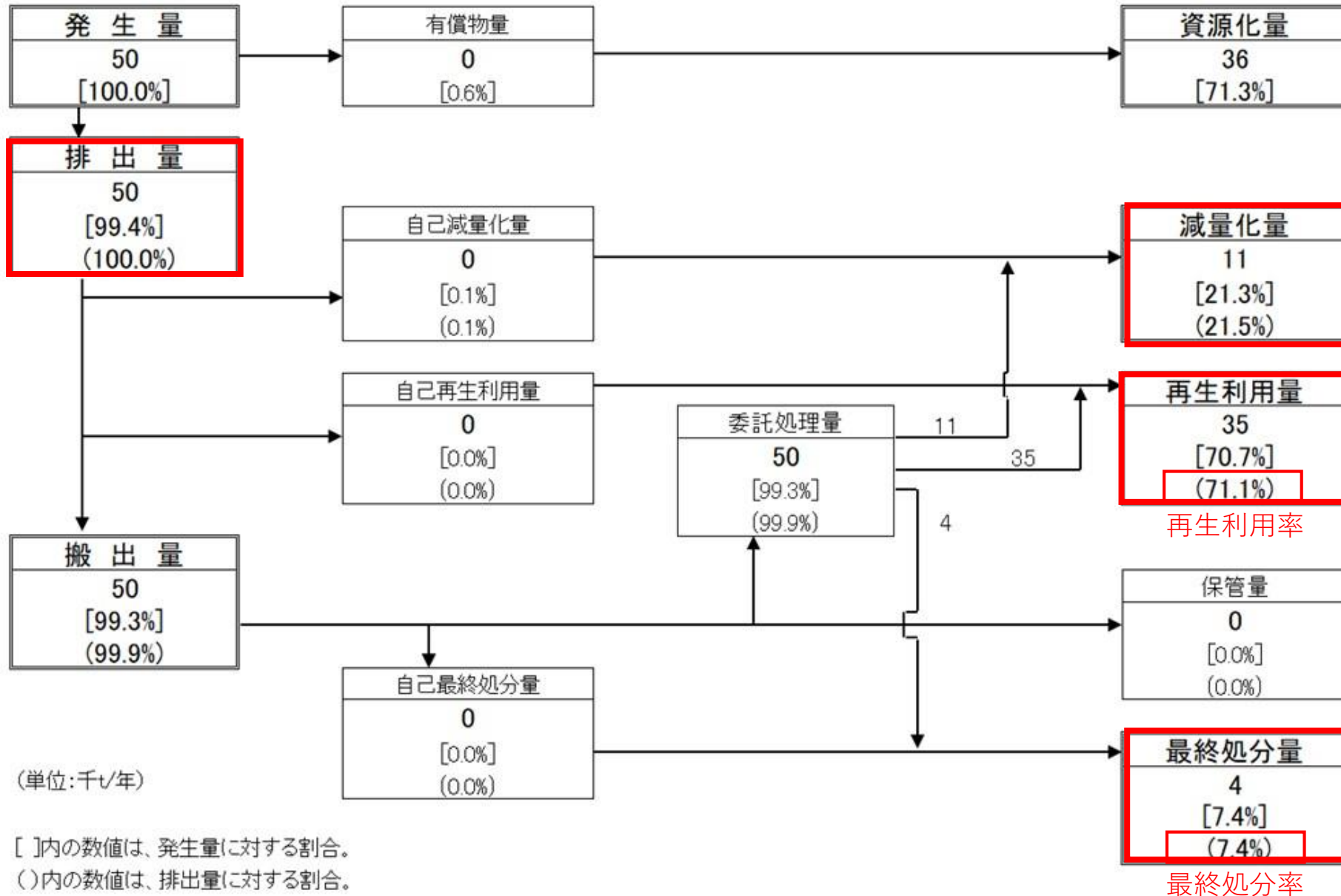
有償物量：
廃棄物にはならず売却など
有効利用された不要物の量

減量化量：
焼却処理や脱水処理によって
減少した廃棄物の重量

再生利用量：
排出事業者又は処理業者等で
再生利用された量
（原料や有価物に変わった量）

最終処分量：
排出事業者又は処理業者等の
最終処分量の合計
（埋立などで処分される）

【参考】市内で発生した廃プラスチック類の処理フロー図（2023年度）



発生量：
有価物として利用されたもの
を含む不要物の総量

排出量：
発生量のうち、有償物量を
抜いた量（廃棄物処理が必要）

有償物量：
廃棄物にはならず売却など
有効利用された不要物の量

減量化量：
焼却処理や脱水処理によって
減少した廃棄物の重量

再生利用量：
排出事業者又は処理業者等で
再生利用された量
（原料や有価物に変わった量）
※サーマルリサイクル除く

最終処分量：
排出事業者又は処理業者等の
最終処分量の合計
（埋立などで処分される）